

地域貢献に関する情報開示

平成19年11月

株式会社 青森銀行

目 次

	(頁)
地域貢献について	・・・ 1
. 地域貢献に関する考え方	
. 地域貢献に関する取組み状況	・・・ 2
1 . 地域への信用供与の状況	
(1) 貸出業務全般の状況	
総貸出金残高	
県内向け総貸出金残高、シェア	
業種別貸出金残高、貸出先数および各シェア	
県内向け業種別貸出金残高、貸出先数および各シェア	
(2) 中小企業向け貸出業務の状況	・・・ 3
中小企業向け貸出金残高、シェア	
中小企業向け貸出先数	
中小企業向け商品の提供内容と個人保証に過度に 依存しない融資残高の公表について	・・・ 4
青森県信用保証協会保証付貸出金残高、シェア	・・・ 5
地方公共団体の制度融資への取組みの状況	
(3) 個人向け貸出業務の状況	
個人ローン残高、件数	・・・ 6
貸出金残高に占める個人ローン残高、シェア	
うち住宅関連融資残高、件数	
うち消費者ローン残高、件数	
県内の個人ローン残高、件数	・・・ 7
県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高、シェア	
うち住宅関連融資残高、件数	
うち消費者ローン残高、件数	
個人向けローン商品の提供内容	
2 . 地域のお客さまへの利便性提供の状況	
(1) お客さま接点の状況	
店舗の状況	・・・ 8
A T Mの状況	・・・ 9
ダイレクトチャネルの展開	・・・ 10

(2) 預金業務等の状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 2
総預金残高	
個人預金残高、シェア	
県内の総預金残高、シェア	
県内の個人預金残高、シェア	
預り資産残高、件数	・ ・ ・ ・ ・ 1 3
うち公共債	
うち投資信託	
うち個人年金・年金払積立傷害保険	
県内の預り資産残高、件数	・ ・ ・ ・ ・ 1 4
うち公共債	
うち投資信託	
うち個人年金・年金払積立傷害保険	
地域のお客さまへの利便性提供に資する取組みの状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 5
(3) 子会社等を通じた利便性提供の状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 6
3 . 地域経済活性化への取組みの状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 7
(1) 地元企業に対する経営サポートの状況	
地元企業の経営相談等への取組みの状況	
地元企業の再生への取組みの状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 8
(2) 企業育成への取組みの状況	
(3) 地方公共団体の事業との関係	・ ・ ・ ・ ・ 1 9
4 . 地域への各種支援活動の状況	・ ・ ・ ・ ・ 2 0

地域貢献について

本資料は、地域貢献に関する当行の基本的な考え方を示し、「地域への信用供与の状況」「地域のお客さまへの利便性提供の状況」「地域経済活性化への取組み状況」「地域への支援活動の状況」などの取組み状況について、具体的に開示したものです。

今後とも、地域の皆さまのために、より充実した情報開示に努めてまいります。

・地域貢献に関する考え方

当行は、青森県を主要な営業基盤とする地域金融機関として、「地域のために お客さまとともに 人を大切に」の企業理念の下、地域社会の繁栄と地域経済の発展に寄与することが重要なテーマであると認識しています。

具体的には、経営の健全性を確保しつつ、本業である銀行業務を通じて、地域の皆さまへの円滑な資金供給と良質な金融サービスを提供していくほか、中小企業の経営支援など、地域経済活性化に向け取り組んでいくことが地域貢献のあり方だと考えています。

また、地域社会に根ざした良き企業市民として社会的責任を果たすことも重要であると考え、学術・文化・スポーツ振興支援や社会福祉、環境保護活動などさまざまな分野で地域社会に貢献してまいります。

「地域」とは・・・当行が主要な営業基盤としている「青森県」を指しています。

なお、預貸金の「県内」の記載数値は青森県内に店舗を構える営業店のみの合計値です。

・地域貢献に関する取組み状況

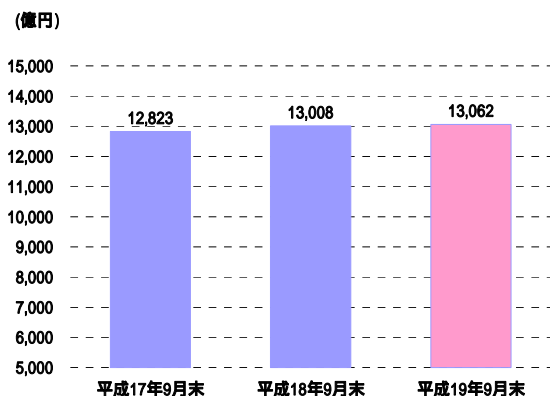
記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。

また、構成比率その他の比率は、表示している単位未満を切り捨てています。

1. 地域への信用供与の状況

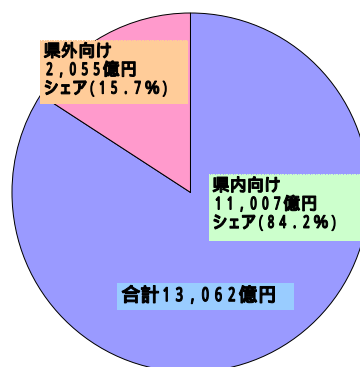
(1) 貸出業務全般の状況

総貸出金残高



平成19年9月末の総貸出金残高は、前年同期比0.4%増加し1兆3,062億円となりました。

県内向け総貸出金残高シェア (平成19年9月末)



地元青森県内への総貸出金残高は1兆1,007億円であり、貸出金全体の84.2%を占めています。

業種別貸出金残高、 貸出先数及び各シェア

業種別貸出金残高	平成19年9月末		平成19年9月末	
	残高(百万円)	先数(件数)	残高(百万円)	先数(件数)
製造業	109,836	1,072	8.4%	0.9%
農業	4,053	931	0.3%	0.8%
林業	315	34	0.0%	0.0%
漁業	5,208	152	0.3%	0.1%
鉱業	1,660	6	0.1%	0.0%
建設業	67,695	2,631	5.1%	2.3%
電気・ガス・熱供給業	18,423	32	1.4%	0.0%
運輸・通信業	48,425	469	3.7%	0.4%
卸売業	86,574	863	6.6%	0.7%
小売業	67,581	2,143	5.1%	1.9%
金融・保険業	54,547	234	4.1%	0.2%
不動産業	89,414	1,680	6.8%	1.5%
飲食業	9,290	942	0.7%	0.8%
サービス業	177,459	3,535	13.5%	3.2%
地方公共団体	272,420	60	20.8%	0.0%
個人	282,880	95,069	21.6%	86.5%
中央政府	10,500	1	0.8%	0.0%
合計	1,306,281	109,854	100.0%	100.0%

貸出金全体でみる業種別残高シェアは、個人21.6%、地公体20.8%の合計が全体の4割強を占め、次いでサービス業13.5%、製造業8.4%、卸売業6.6%と続きます。貸出先数シェアでは、個人が86.5%と全体の約9割を占めています。

県内向け業種別貸出金残高、 貸出先数及び各シェア

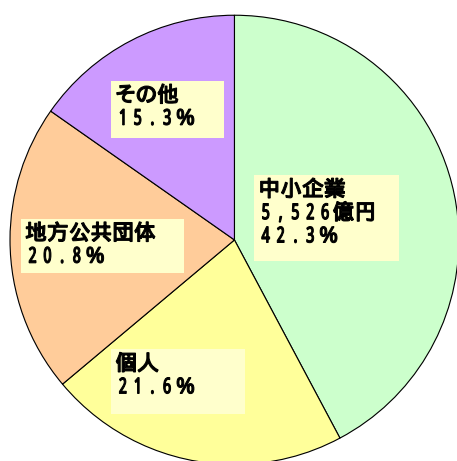
業種別貸出金残高	平成19年9月末		平成19年9月末	
	残高(百万円)	先数(件数)	残高(百万円)	先数(件数)
製造業	65,421	943	5.9%	0.8%
農業	4,034	927	0.3%	0.8%
林業	315	33	0.0%	0.0%
漁業	5,192	148	0.4%	0.1%
鉱業	1,660	6	0.1%	0.0%
建設業	59,663	2,504	5.4%	2.3%
電気・ガス・熱供給業	15,548	31	1.4%	0.0%
運輸・通信業	39,404	443	3.5%	0.4%
卸売業	63,287	771	5.7%	0.7%
小売業	62,213	2,029	5.6%	1.9%
金融・保険業	12,658	190	1.1%	0.1%
不動産業	76,638	1,519	6.9%	1.4%
飲食業	8,841	884	0.8%	0.8%
サービス業	146,370	3,240	13.2%	3.0%
地方公共団体	271,008	55	24.6%	0.0%
個人	268,486	91,489	24.3%	86.9%
合計	1,100,738	105,212	100.0%	100.0%

県内向け貸出金残高に占める業種別残高シェアは、個人が24.3%、地公体24.6%、サービス業13.2%など貸出金全体でみた場合と大きな変化はありません。貸出先数でも同様です。

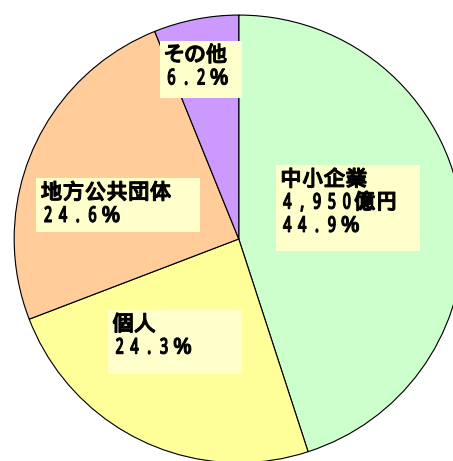
(2) 中小企業向け貸出業務の状況

中小企業向け貸出金残高、シェア

中小企業向け貸出金残高、シェア
(平成19年9月末)



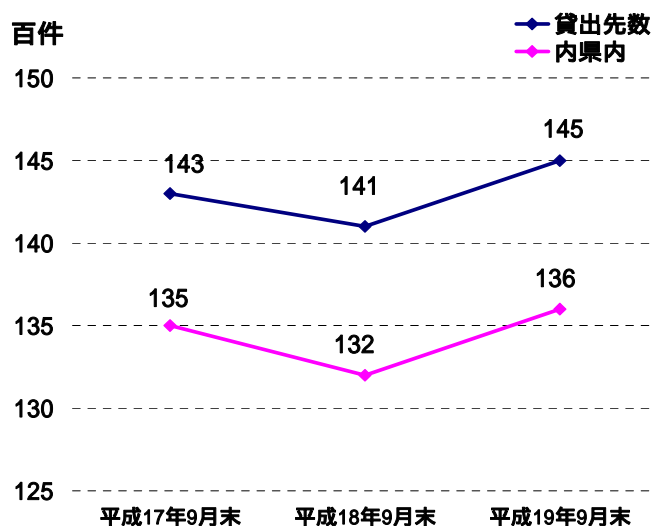
県内中小企業向け貸出金残高、シェア
(平成19年9月末)



当行の貸出金全体に占める中小企業向け貸出金残高のシェアは42.3%であり、県内向けでは、44.9%のシェアとなっています。

中小企業向け貸出数

中小企業とは・・・資本金3億円以下、または常用従業員300人以下の企業規模の法人および個人事業主のことです。但し、資本金については、卸売業が1億円以下、小売業、飲食店、各種サービス(飲食店を除く)は50百万円以下、常用従業員については、卸売業、各種サービス(飲食店を除く)が100人以下、小売業、飲食店は50人以下の企業規模の法人および個人事業主のことをいいます。



中小企業向け融資商品の提供内容と個人保証に 過度に依存しない融資残高の公表について

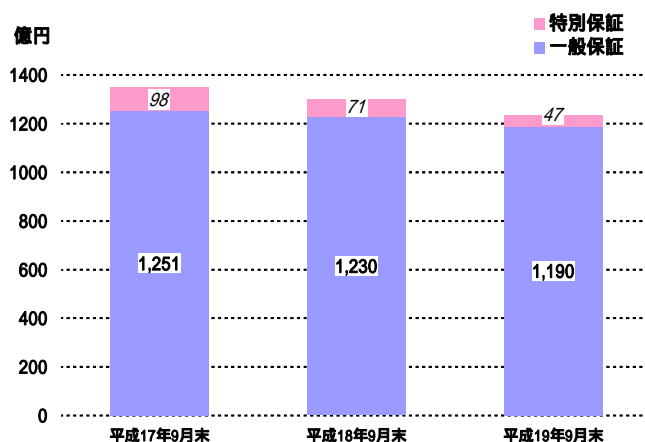
お客さまの資金調達ニーズの多様化に合わせてとともに、個人保証に過度に依存しない各種商品をご用意しています。これからも、お客さまの声にお応えするために、商品ラインナップの充実に努めてまいります。

中小企業向け融資商品一覧

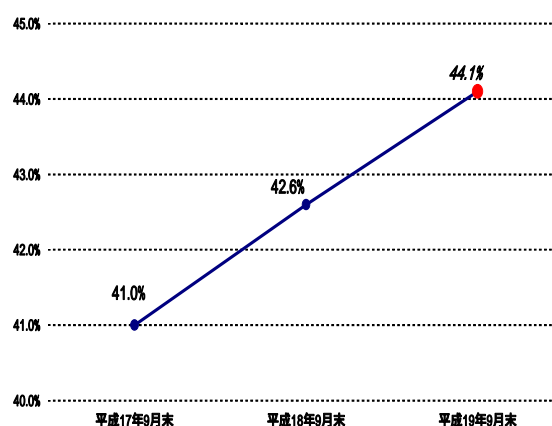
種類	内容	ご融資金額	ご融資期間
あおぎん バックアップローン (スコアリングモデル)	信用保証協会の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。最高3,000万円まで無担保・第三者保証人不要の条件で、原則3営業日以内に回答します。	最高3,000万円	運転資金・・・ 5年以内 設備資金・・・ 7年以内
あおぎん スピードローン (スコアリングモデル)	業歴2年以上でオリックス(株)の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、最短2営業日以内に回答します。	100万円以上 3,000万円以内 (10万円単位)	5年以内
あおぎん ビジネスローン デュオ	業歴2年以上の法人および個人事業主の方にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援します。	100万円以上 1億円以内 (10万円単位)	7年以内
あおぎん TKC戦略経営者ローン (スコアリングモデル)	設立3年以上でTKC会員と顧問契約締結1年以上の法人にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援します。	100万円以上 2,000万円以内 (10万円単位)	運転資金・・・ 5年以内
私募債 (信用保証協会付)	資金調達手段の多様化にお応えするため、信用保証協会保証付私募債の受託業務に積極的に取り組んでいます。	無担保 (2億円まで)	7年以内
あおぎん デュアルサポートローン (コベナンツ)	青森県内に本店所在地がある業歴2年以上かつ年商30億円未満で、三菱東京UFJ銀行の審査承認が受けられる法人にご利用いただけます。最高1億円まで原則無担保・第三者保証人不要の条件で、県内企業を支援します。	2,000万円以上 1億円以内	5年以内
あおぎん 車両担保ローン 「ビジネスウェイ」 (動産担保)	業歴3年以上でオリックス自動車(株)の保証が受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。購入車両または既存所有車両を担保に、最高1億円まで第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援します。	100万円以上 1億円以内	7年以内
あおぎん スピードチャージ (スコアリングモデル)	業歴2年以上で青森県信用保証協会の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。最高3,000万円まで原則無担保・第三者保証人不要の条件で、最短即日回答します。	3,000万円以内	運転資金・・・ 10年以内 設備資金・・・ 15年以内

区分	件数	残高
コベナンツ(財務制限条項)を活用した融資	2件	54百万円
スコアリングモデル(財務評点)を活用した融資	1,747件	15,464百万円
動産・債権譲渡担保融資	0件	0円
知的財産担保融資	0件	0円

青森県信用保証協会保証付貸出金残高、 青森県信用保証協会保証付貸出残高



シェア 青森県信用保証協会保証付貸出金全体 に占める当行シェア



当行は中小企業の円滑な資金調達に資するため、積極的に信用保証協会の保証付貸出を推進しています。平成19年9月末の同協会保証付貸出残高は1,237億円（一般保証1,190億円、特別保証47億円）であり、同保証協会付貸出金残高全体に占める当行シェアは44.1%とトップシェアとなっています。

特別保証とは・・・中小企業の安定した資金調達のために政府が創設した「中小企業金融安定化特別保証融資制度」のことで、平成10年10月から平成13年3月まで実施されました。特別措置として、一般保証とは別枠で行われた制度のため、通常の一般保証とは区別して管理されています。現在は制度の取扱いが終了しているため新規の取扱いがなく、返済により残高は減少しています。

地方公共団体の制度融資への取組みの状況

当行は、県や市町村の制度融資を取扱いし、地元の中小企業の皆さまに対し円滑な資金供給に努めています。

(主な地方公共団体融資制度)

青森県中小企業長期経営安定資金

青森県内の中小企業者を対象にし、企業経営の安定に必要な長期資金の融資を行うことにより、経営基盤の安定化を図ることを目的としています。

平成19年9月末 取扱残高 485件 48億円

青森県中小企業セーフティネット資金

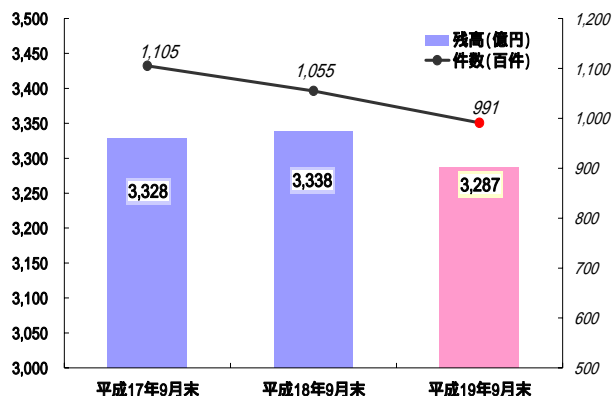
企業倒産等により影響を受ける県内中小企業者の連鎖倒産を防止するとともに、長期的な景気低迷により資金繰りが悪化している県内中小企業者の経営安定を図ることを目的としています。

平成19年9月末 取扱残高 1,161件 88億円

上記のほか、青森県地場産業振興資金、青森県創業支援資金、市町村特別保証制度としての小口資金・事業活性化資金などを取扱っています。

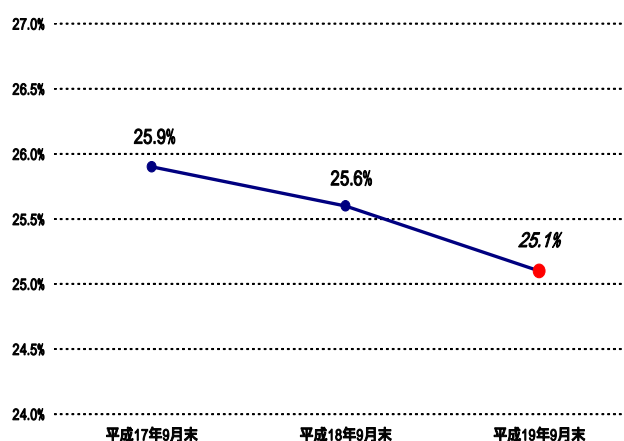
(3) 個人向け貸出業務の状況

個人ローン残高、件数



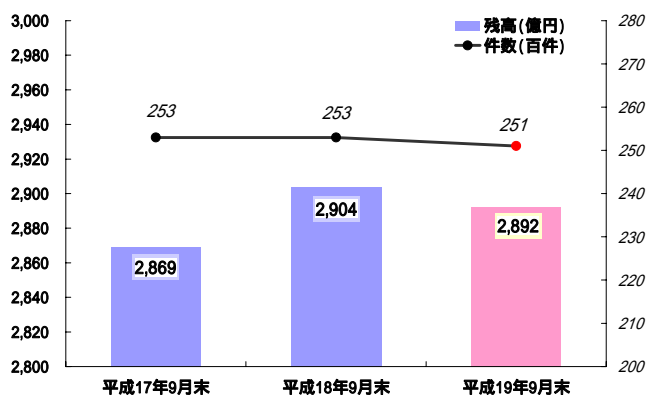
平成19年9月末の個人ローン残高は、消費性資金の需要低下により、前年同月比1.5%減少し、3,287億円となりました。件数は同6.0%減少し、991百件となりました。個人事業主向け個人ローンを含みます。

貸出金残高に占める個人ローン残高、シェア



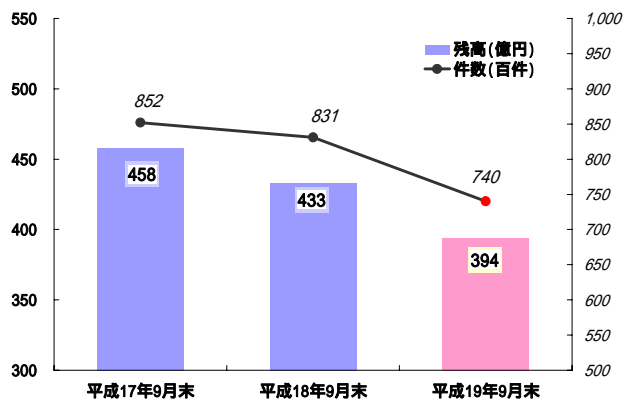
平成19年9月末の貸出金全体に占める個人ローン残高シェアは、前年同月比0.5ポイント減少し、25.1%となりました。

うち住宅関連融資残高、件数



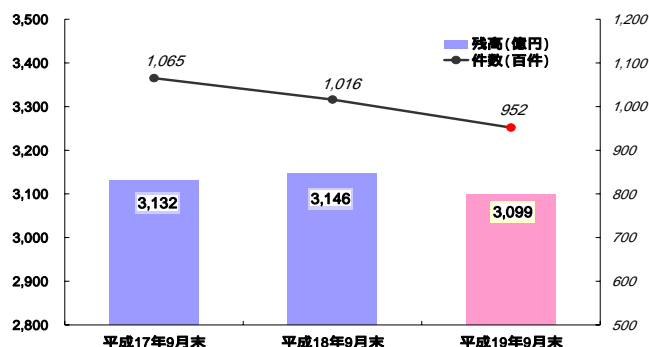
住宅着工件数の減少により、平成19年9月末の住宅関連融資残高は前年同月比0.4%減少し、2,892億円、件数は同0.9%減少し、251百件となりました。

うち消費者ローン残高、件数 (カードローンを含む)



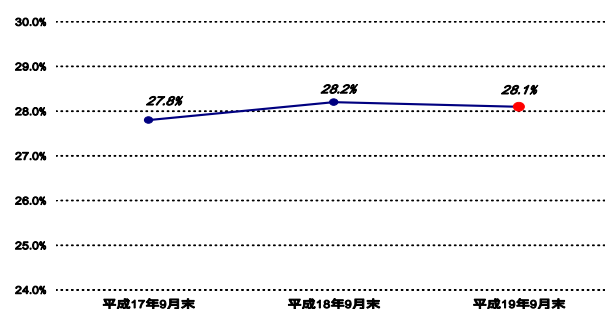
マイカーローン、カードローンの取扱いが減少したことから、平成19年9月末の消費者ローン残高は前年同期比9.0%減少し、394億円、件数は同7.6%減少し、740百件となりました。

県内の個人ローン残高、件数



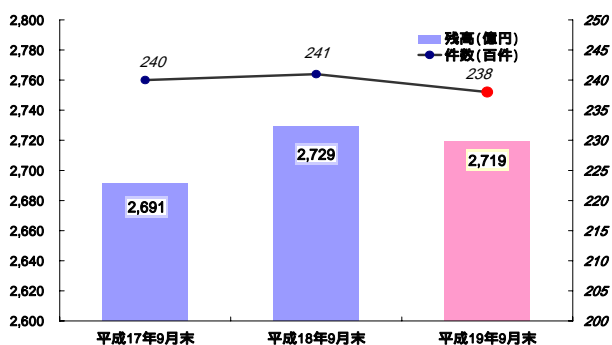
平成19年9月末の県内向け個人ローン残高は、前年同月比1.5%減少し、3,099億円、件数は同6.2%減少し、952百件となりました。また、平成19年9月末の県内向け個人ローンは、個人ローン全体の94.2%を占めています。

県内向け貸出金残高に占める 県内の個人ローン残高、シェア



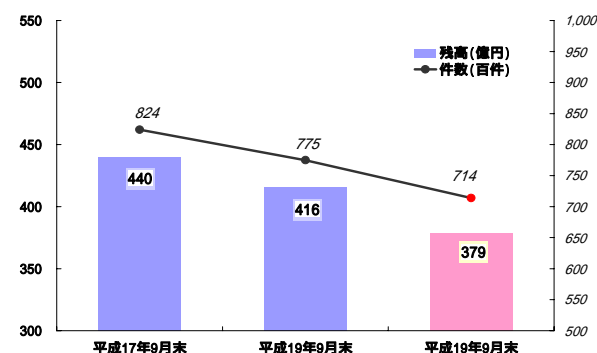
平成19年9月末の県内向け貸出金全体に占める県内の個人ローン残高は、前年同月比0.1ポイント減少し、28.1%となりました。

うち住宅関連融資残高、件数



平成19年9月末の残高は前年同月比0.3%減少し、2,719億円、件数は同1.2%減少し、238百件となりました。

うち消費者ローン残高、件数 (カードローンを含む)



平成19年9月末の残高は前年同月比8.9%減少し、379億円、件数は同7.8%減少し、714百件となりました。

個人向けローン商品の提供内容

マイカー購入や旅行・買い物など目的に合わせた資金計画のお手伝いをするため、マイカーローンやカードローン等のローン商品を用意しています。また、「夢のマイホーム」の実現やご自宅のリフォームのお手伝いをするため各種住宅ローン商品を用意しています。

【代表的な消費者ローン・カードローン】マイカーローン、教育ローン、フリーローン ゆとり王、ツインカード、Aキャッシング
住宅ローン：スーパー住宅ローン、住実パワー、リフォーム大臣、担保無用の助

2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

(1) お客さま接点の状況

店舗チャンネルの状況

当行は、お客さまに対して、より質の高い金融サービスを提供できるよう店舗展開を進めています。

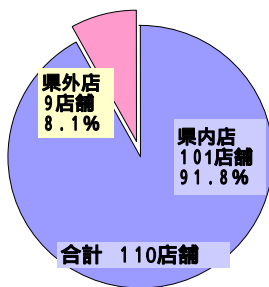
また、ATM（現金自動預払機）の設置についても、お客さまの利便性向上のために、積極的に展開するとともに、平成14年1月よりATMの365日稼働も実施しています。

さらに、全国に先駆けた他業態金融機関とのATM相互利用無料提携「あすなるNET」のほか、隣接県のトップバンクである秋田銀行・岩手銀行とのATM相互利用無料提携「AAIネット」も実施しています。

加えて、コンビニATM「E-net」との提携のほか、平成19年3月19日からセブン銀行ATMとの提携を開始し、県外での利便性拡充を図りました。また、各クレジット会社へのATM開放等、ネットワーク網の拡大と利便性の向上に積極的に努めています。

店舗の状況

店舗数、シェア（平成19年10月末現在）



支店	95
出張所	6
県内店	101カ店
県外店	9カ店

当行の全店舗110カ店のうち県内店は101カ店であり、全体の91.8%を占めています。

店舗設置市町村数（平成19年10月末現在）

市・・・県内10市に80カ店設置。

町・・・県内22町のうち19町に20カ店設置

村・・・県内8村のうち1村に1カ店設置

県外・・・9カ店

東京都 / 中央区 1カ店

北海道 / 函館市 3カ店、札幌市 1カ店

秋田県 / 大館市 1カ店、能代市 1カ店

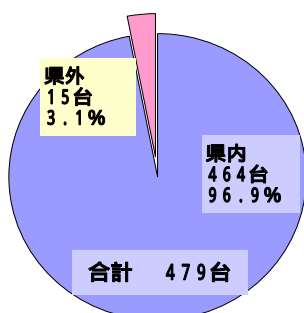
岩手県 / 盛岡市 1カ店

宮城県 / 仙台市 1カ店

A T Mの状況

A T M設置数（平成19年9月末現在設置箇所及び台数）

	県内A T M設置数		県外A T M設置数		総A T M設置数	
	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数
店舗内	99	220	9	13	108	233
店舗外	201	215	0	0	201	215
小計	300	435	9	13	309	448
他金融機関幹事共同A T M	29	29	1	2	30	31
合計	329	464	10	15	339	479



平成19年9月末現在のA T M設置数479台（他金融機関幹事共同A T Mを含みます）のうち、県内に設置しているA T M数は464台（同）であり、全体の96.9%を占めています。

あすなるN E T（平成19年9月末現在）

平成7年5月より、お客さまの利便性向上のため、当行と県内提携金融機関との間で他行A T M利用手数料の相互無料化を実施しました。これにより、通常時間帯（平日8時～18時）に当行のお客さまが提携金融機関のA T Mをご利用された場合、他行A T M利用手数料は無料となっています。

提携金融機関のお客さまが当行のA T Mをご利用された場合も同様にA T M利用手数料は無料となります。

コンビニA T M「E-net（イーネット）」（平成19年9月末現在）

県内のサークルK、サンクス、ミニストップ、ファミリーマート、スーパーストア合計40カ所の店舗に設置しています。営業時間は平日7時から23時、土日祝日7時から21時までとなっています。（一部A T M対象外）県外のイーネットA T Mでも当行A T Mと同様の手数料にてご利用いただけます。

（全国7,640台 平成19年9月末現在）

セブン銀行A T M（平成19年9月末現在）

平成19年3月19日、セブン銀行との提携を開始し、全国のセブン銀行A T Mのご利用が可能になりました。営業時間は平日7時から23時、土日祝日7時から21時となっています。お引出・お預入の際は、平日8時から18時が105円、それ以外の時間帯は210円の手数料を申し受けますが、残高照会は無料でご利用いただけます。

（全国12,548台 平成19年9月末現在）

休日の対応状況

A T M（店舗内、店舗外、コンビニ）は休日に関わらず1年365日営業しています。A T M利用時の障害問い合わせ、照会等については、コールセンター（A T M集中監視業務）にて対応しています。

A T M提携の状況（平成19年9月末現在）

提携名称	県内設置状況	内 容
あすなるNET	H7.5.1～ 374カ所	県内全信用金庫、青森県信用組合、東北労働金庫、JAバンク青森の4業態8金融機関とのA T M相互利用手数料無料提携（支払・残高照会）
アイ AAIネット	H12.4.3～ 11カ所	秋田銀行、岩手銀行とのA T M相互利用手数料無料提携 秋田銀行3カ所、岩手銀行8カ所（支払・振込・残高照会）
ゆうちょ銀行提携(県内)	290カ所 (H19/3末現在)	全国約26,000台(入金・支払・残高照会・相互送金)
クレジットカード会社等との A T M提携	23先	銀行系6、信販系8、流通系5、消費者金融系4

バリアフリーへの取組み

- ・店舗入口スロープ設置店舗（段差解消）71カ所
- ・車いす利用可能トイレ設置店舗 11カ所
- ・車いす利用可能A T M設置店舗 1カ所
- ・車いす利用可能店舗外A T M 1カ所

ダイレクトチャネルの展開

個人のお客さま向け

「忙しくて銀行に行けない」というお客さまのために「<あおぎん>つないでネ！ット」をご用意しています。

この「<あおぎん>つないでネ！ット」では、お客さまのご都合に合わせ、テレホンバンキング・インターネットバンキング・モバイルバンキングで、「口座残高や入出金明細の照会」ならびに「お振込」「お振替」等の様々なサービスがご利用いただけます。

また、対象サービスをご利用いただくことで翌月の月額基本手数料が無料となる「手数料優遇」(優遇対象サービスは一覧表の【得】表示のあるものとなります。実施期間は平成20年3月まで延長しました。)の実施や、振込手数料が窓口でのお取扱よりも安価であることなど大変お得です。

インターネットバンキングでのネット上の情報漏洩・データの改ざんを防ぐため「SSL128ビット方式による暗号化」を施すなど、安心してご利用いただけます。

また、平成19年10月15日より「ワンタイムパスワードサービス」を導入し、不正アクセス防止の強化を図っています。

インターネットバンキング																			
モバイルバンキング																			
テレホンバンキング																			
ご利用いただけるサービス	【得】 口座照会	【得】 振込	【得】 振替	【得】 振込・振替予約	【得】 定期預金（お預入・お引出）	【得】 定期預金（お預入）	【得】 外国送金	【得】 外貨預金	【得】 外貨宅配	【得】 税金・各種料金払込み（ペイジー）	【得】 公共料金自動振替の受付	住所変更の受付	各種商品・サービスの「相談」						

法人・個人事業主のお客さま向け

「銀行に行く時間を他の仕事にまわしたい」「もっと効率的に仕事をしたい」というお客さまのために、各種E B サービスを用意しています。

サービスについての充実も積極的に進めており、最近では次のサービスの取扱いを開始しました。

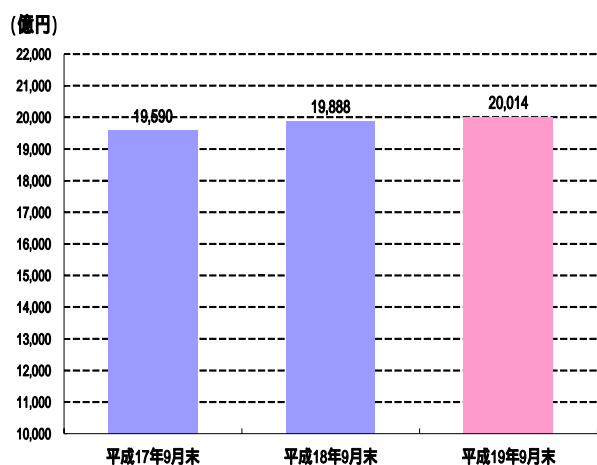
- ・平成16年1月「法人向けインターネットバンキング<あおぎん>A B -web において、「データ伝送での総合振込・給与振込」の取扱いを開始しました。
- ・平成16年1月「法人向けインターネットバンキング<あおぎん>A B -web において、「税金・各種料金払込み（ペイジー）」の取扱いを開始しました。

また、各種サービスでは暗証番号での本人確認実施などにより、セキュリティ対策を講じてきました。さらに、平成19年1月15日より<あおぎん>A B -web 「電子証明書認証方式」を導入しお客さまの情報保護の強化に努めています。

ANSERサービス & データ伝送サービス	お手持ちのパソコンから、お振込や総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
AB - web (法人向けインターネットバンキング)	インターネットを経由して、お振込や総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
FAX取引受付サービス	お手持ちのFAXから、総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
あおもり ワイドネットサービス	売掛金等の代金回収業務を、貴社に代わって「あおぎんコンピュータサービス㈱」(当行関連会社)が行います。
コンビニ収納サービス	各種売上代金等を、全国の提携コンビニを通じて回収できます。

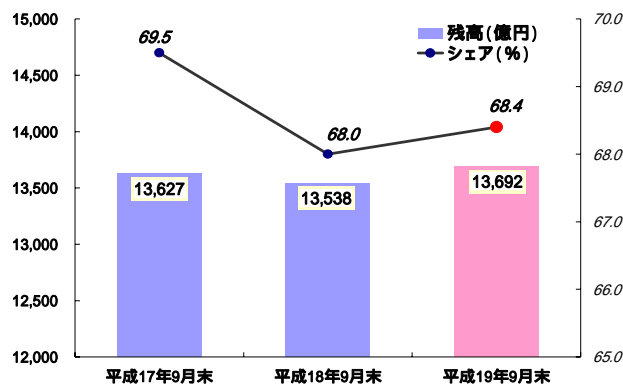
(2) 預金業務等の状況

総預金残高



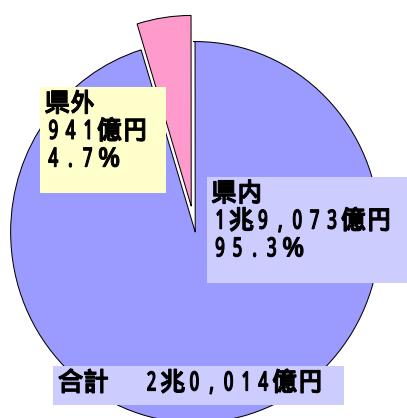
平成19年9月末の総預金残高(譲渡性預金を含む)は、前年同期比0.6%増加し、2兆14億円となりました。

個人預金残高、シェア



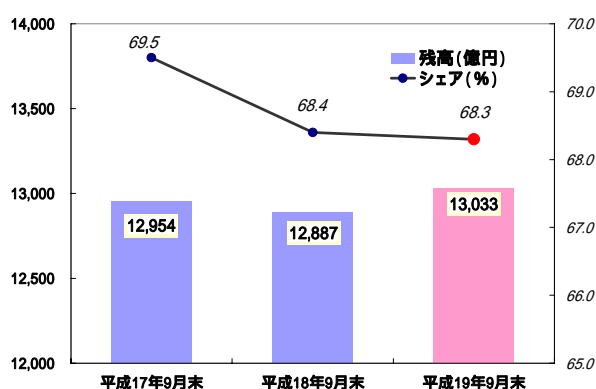
平成19年9月末の個人預金残高は、前年同期比1.1%増加し、1兆3,692億円となりました。また、預金全体に占める個人預金のシェアは、同0.3ポイント増加し、68.4%となりました。

県内の総預金残高、シェア (平成19年9月末)



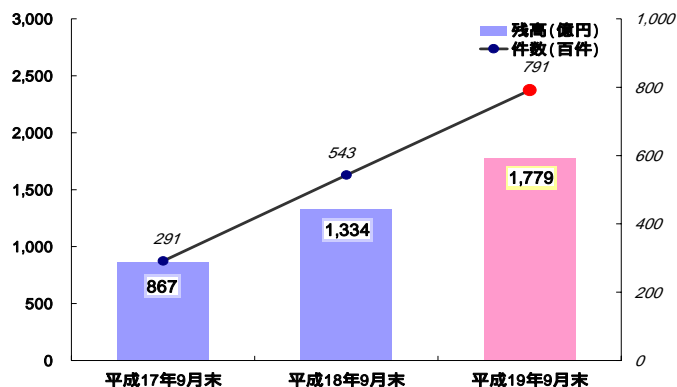
青森県内の総預金残高は、1兆9,073億円であり、預金全体の95.3%を占めています。

県内の個人預金残高、シェア

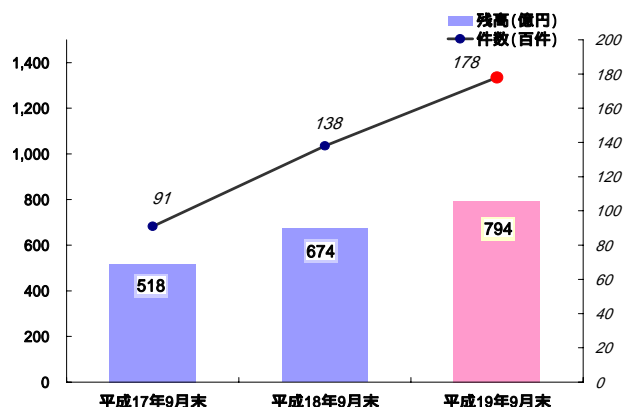


平成19年9月末の県内の個人預金残高は、前年同期比1.1%増加し、1兆3,033億円となりました。また、県内預金全体に占める県内の個人預金シェアは、同0.1ポイント減少し、68.3%となりました。

預り資産残高、件数



うち公共債

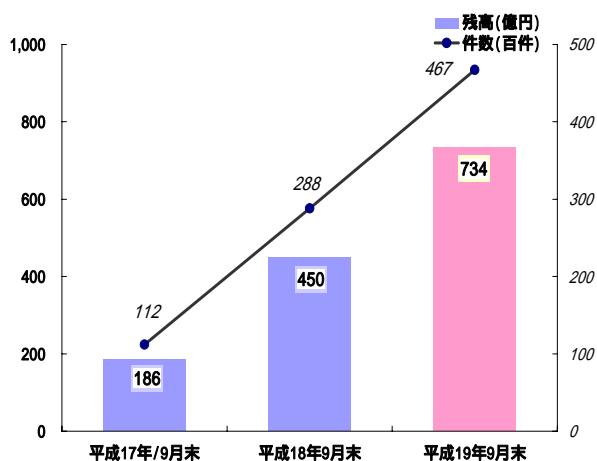


資産運用の多様化に伴い、国債や投資信託などの預り資産残高は大幅に増加しています。

平成19年9月末の預り資産残高は、前年同期比33.3%増加し、1,779億円、件数は、同45.4%増加し、791百件となりました。

平成19年9月末の公共債は、「個人向け国債」を中心に増加しました。残高は、前年同期比17.8%増加し、794億円、件数は、同29.4%増加し、178百件となりました。

うち投資信託

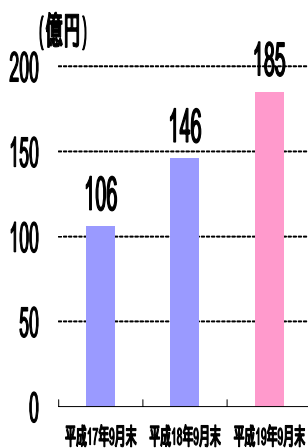


投資信託は、お客さまの資産運用ニーズの多様化を受けて、定期分配型ファンドを中心に増加基調にあります。

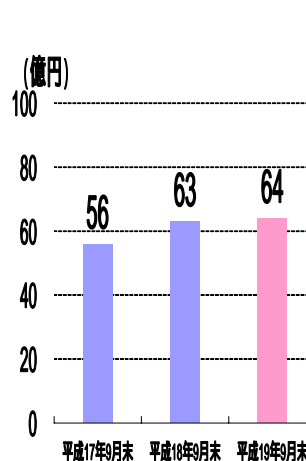
平成19年9月末の残高は、前年同期比63.2%増加し、734億円、件数は、同61.9%増加し、467百件となりました。

うち個人年金・年金払積立傷害保険

個人年金保険



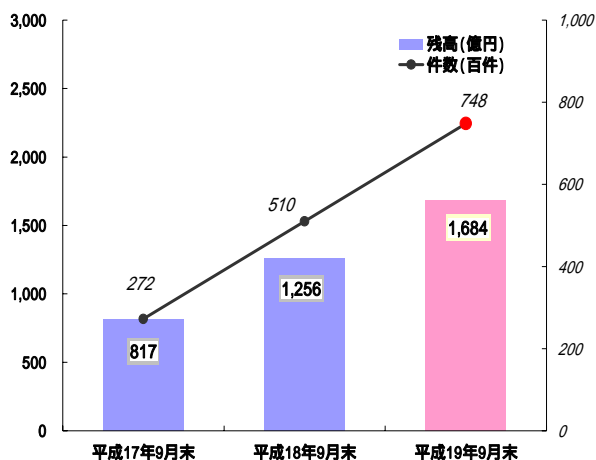
年金払積立傷害保険



平成19年9月末の個人年金保険残高は、前年同期比26.8%増加し、185億円となり、年金払積立傷害年金保険残高は、同1.0%増加し、64億円となりました。

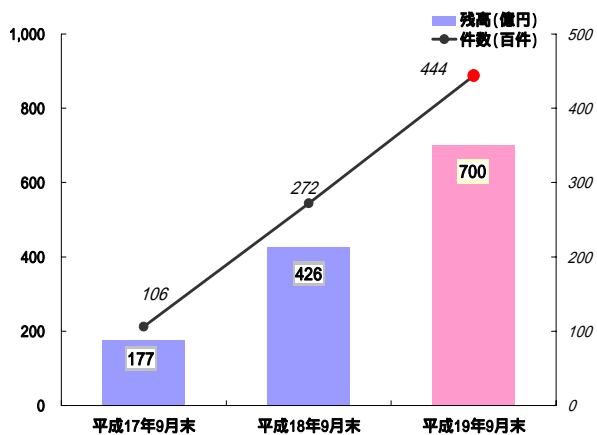
残高については、初回保険料のみ計上しています。

県内の預り資産残高、件数



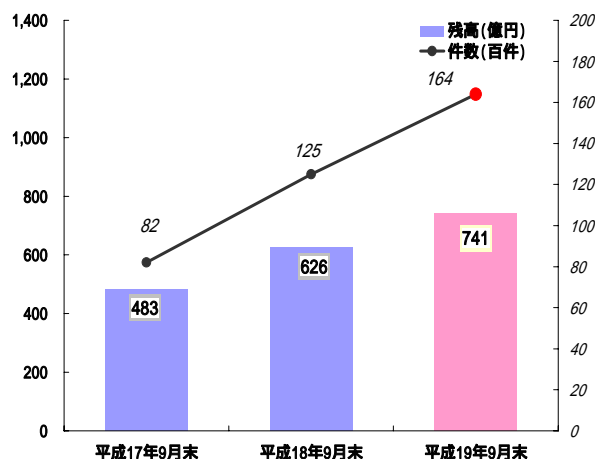
平成19年9月末の預り資産残高のうち県内分の残高は、前年同期比34.0%増加し、1,684億円、件数は、同46.4%増加し、748百件となりました。県内の預り資産残高は、預り資産残高全体の94.6%を占めています。

うち投資信託



平成19年9月末の投資信託のうち県内分の残高は、前年同期比64.0%増加し、700億円、件数は、62.9%増加し、444百件となりました。

うち公共債

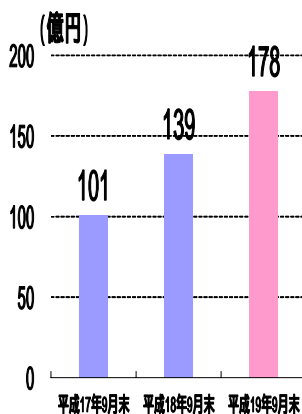


平成19年9月末の公共債のうち県内分の残高は、前年同期比18.4%増加し、741億円、件数は、同31.1%増加し、164百件となりました。

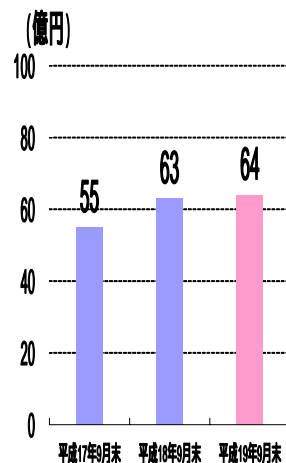
うち個人年金・

年金払積立傷害保険

個人年金保険



年金払積立傷害保険



平成19年9月末の個人年金保険のうち県内分の残高は、前年同期比27.7%増加し、178億円となり、年金払積立傷害保険の残高は、同1.0%増加し、64億円となりました。

残高については、初回保険料のみ計上しています。

地域のお客さまへの利便性提供に資する取組み状況

当行では、お客さまお一人おひとりのご要望やライフスタイルに合わせた資産計画にお応えするために、魅力ある商品・サービスを各種用意しています。皆さまの毎日の暮らしや将来計画の実現をお手伝いするパートナーとしてお役に立ちたいと考えています。

預金商品 代表的な預金商品

自由金利型定期預金（M型） スーパー定期

・最もお客さまに親しまれている預金商品。預入期間も1ヵ月～10年と幅広く設けられています。金利は市場実勢に応じて決定されます。

あおぎん 資産運用パック「みのり計画」

・「円貨定期預金」と「投資信託」を同時に申し込むことで、円貨定期預金の金利に特別金利が適用される資産運用商品です。

外国債券の取扱開始

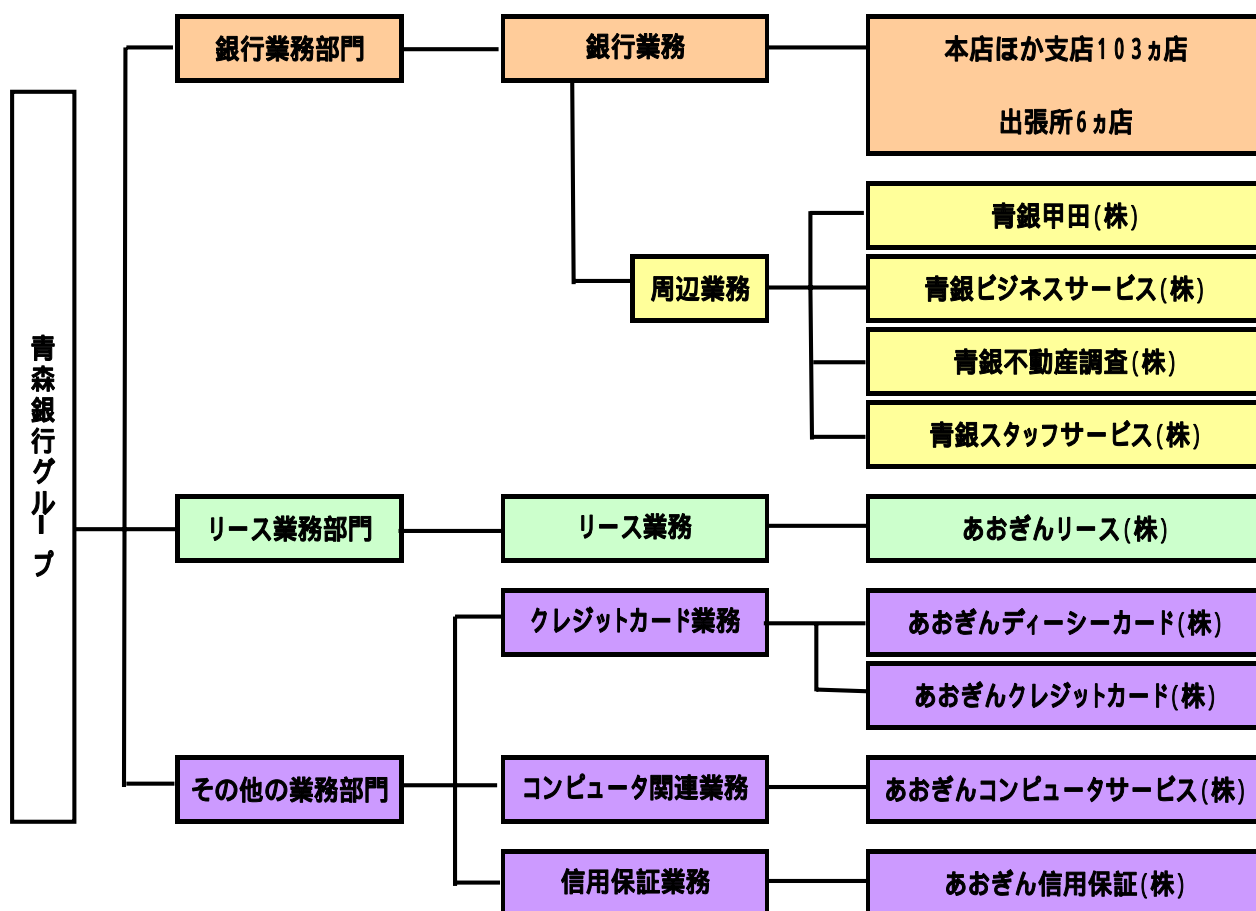
総合的な金融サービスの提供や金融商品のワンストップショッピングなど、お客さまのご要望に広くお応えするため、平成19年8月から外国債券の取扱を本店営業部、弘前支店、八戸支店の3店舗で行っています。

年金相談会、投資信託セミナー等の開催

年金相談会を本店では随時、他の県内7支店では定期的に月1回開催しています。また、支店単位等で適宜お客さま向けの資産運用に関するセミナーを開催しています。

(3) 子会社等を通じた利便性提供の状況

青森銀行グループは、当行および子会社・連結子会社9社で構成され、銀行業を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの事業を行ない、幅広い金融サービスを提供しています。



3. 地域経済活性化への取組みの状況

(1) 地元企業に対する経営サポートの状況

地元企業の経営相談等への取組みの状況

「ビジネス商談会」で地域経済の活性化を推進

当行、岩手銀行、秋田銀行では、5回目の北東北三行共同によるビジネス商談会を、本年11月20日に東京で開催しました。

この商談会は、北東北三行が各取引先企業のビジネス情報を共有し、ビジネスマッチングの機会創出等、法人のお客さまへのサービス向上を図るために設立した、「北東北三行共同ビジネスネットNetbix」事業の一環として行なったもので、首都圏マーケットのさらなる開拓を目指し、昨年に引き続いて東京で開催したものです。

東京都の東京流通センターで開催した第5回ビジネス商談会には、北東北三行の取引先105社が出展し、当日は、首都圏の大手商社、百貨店のバイヤーなど約1,400人を超える来場者で賑わいました。また、商談コーナーでは首都圏企業の担当者との間で548件の商談が行なわれました。

医療介護事業コンサルタントチーム

平成18年2月に法人部内に設置し、医療・介護事業者のお客さまからのご相談に対し、情報提供機能の強化と経営問題解決に向けての支援強化を図るとともに、安定的かつ円滑な資金提供を行なうことを目的として活動しています。毎月、医療・介護経営に関するレポートの配布を行い、本年10月には第3回医療経営セミナー「日本の病院政策と今後の対応策」を開催しました。

(財)青森地域社会研究所の活動

(財)青森地域社会研究所は、昭和53年7月に設立された地域型シンクタンクです。同研究所は、県内地域社会に関する経済、社会、文化、歴史等全般的分野についての調査研究や地域産業育成のための助成事業を行なっています。

また、調査研究結果を刊行物として定期的に発行するなど、地域経済社会の発展に貢献しています。

青森銀行研修所の活動

当行研修所では、平成5年の創立50周年を機に、県内の全事業所、従業員を対象とした研修制度をスタートさせました。人材育成研修の企画・実施、セミナーの開催、研修講師派遣等の活動を行っています。

地元企業の再生への取組みの状況

「企業支援室」による経営改善指導等

当行の企業理念である「地域のために お客さまとともに 人を大切に」のとおり、地域の発展なくして当行の発展はないとの考えから、経営改善を必要とするお取引先に対して、支援専担部署として平成15年4月に設置した「企業支援室」が中心となり経営改善に向けた支援・相談に積極的に取り組んでいます。

具体的には、企業経営者との面談を実施し、問題点・課題を共有するとともに経営改善計画の策定に深く関わりながら、経営者と一体となって経営改善に取り組んでいます。さらに、公認会計士・経営コンサルタント等外部専門機関との情報交換を通して、適時、適切なアドバイスを行えるよう体制も整えています。

なお、平成19年度上期の要注意先債務者の健全化等に向けた取組みでは、債務者区分のランクアップ13先の実績となっています。

政府系金融機関と業務協力提携

当行は、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫、中小企業金融公庫、農林漁業金融公庫の各政府系金融機関と相互の連携をより一層強化するため、業務協力に関する覚書を締結しています。

業務協力により、当行と政府系金融機関双方の業務特性を活かして、地域への円滑な資金供給を図り、地域経済の活性化に貢献してまいります。

(2) 企業育成への取組みの状況

当行では、地域産業育成の観点から、新技術・新製品や新サービスの研究開発に対し、あおぎん地域産業育成助成金「エンジェル」を助成しています。

「エンジェル」とは、青森県内の法人・個人の方々を対象に、研究開発に必要な資金の2分の1（限度額300万円）を助成する制度で、平成9年度より実施し、これまで17企業1個人の18先に対し助成しました。

(3) 地方公共団体の事業との関係

青森県内には、青森県を含め41の地方公共団体（平成19年3月末現在）があり、当行ではこのうち青森県をはじめ、県内全市（10市）と21町村の32の地方公共団体から指定金融機関の指定を受け、地域の中核金融機関として、公金業務を取扱いしています。

当行は、平成16年7月1日県内で最初の市町村合併となった五戸町を始めとして、新しく誕生した17市町村のうち14市町村より指定金融機関の指定を受けました。

また、地域社会のよりよい環境づくりのため、地方公共団体、公社などへの融資、地方債の引き受けを通じて学校、病院など公共施設の整備に協力するとともに、地方公共団体の収納・支払事務について、口座振替の推進および電子化等に積極的に取組み、地域住民への利便性向上に努めています。

さらに、当行の関連シンクタンクである（財）青森地域社会研究所では、地方公共団体の各種調査、研究事業等を受託しています。

県内市町村合併状況（平成19年9月末現在）

合併により誕生した市町村数	8市9町
（合併構成市町村数）	（6市21町17村）

当行の指定金融機関シェア（平成19年9月末現在）

		全体	当行 （シェア）
合併前 （H16.6.30）	指定金指定先数	68(1県8市34町25村)	46(1県8市27町10村) (67.6%)
	人口（注1）	1,475,728人	1,336,957人 (90.6%)
	財政規模(注2)	648,663M	556,194M (85.7%)
合併後	指定金指定先数	41(1県10市22町8村)	32(1県10市17町4村) (78.0%)
	人口（注3）	1,436,628人	1,345,535人 (93.7%)
	財政規模（注4）	624,410M	567,800M (90.9%)

（注1）：国勢調査（H12.10.1現在）

（注2）：平成14年度市町村「歳入」決算額

（注3）：国勢調査（H17.10.1現在）

（注4）：平成17年度市町村「歳入」決算額

4. 地域への各種支援活動の状況

「あおぎん賞」の贈呈

平成5年、当行創立50周年を記念し、「青森県内の産業・地域開発および学術・文化・スポーツ等の振興に貢献した個人・団体等を表彰し、青森県の発展に資する。」ことを目的に「あおぎん賞」を創設しました。今年で15回目となり、これまでに受賞者数は、37団体7個人の44先となっています。

「小さな親切」運動による活動

当行では、「小さな親切」運動青森県本部の事務局として、毎年「春のクリーン大作戦」を実施しています。当行役職員はじめ、県内各地の皆さまにも多数ご参加いただいています。

地域行事への参加、ロビー展の開催

四季を通して開催されるお祭りや催し物、スポーツ大会等には人とのふれあいが溢れています。当行では、地域の皆さまとのふれあいを大切にしたいと考え積極的に参加しています。

また、本支店のロビーを地域の皆さまの文化活動や作品発表の場としてご活用いただいています。

「あおぎん講演会」の開催

当行では、地域貢献活動の一環として、また生涯学習推進のために青森県が開催している「あおもり県民カレッジ」の単位認定講座として「あおぎん講演会」を開催しています。